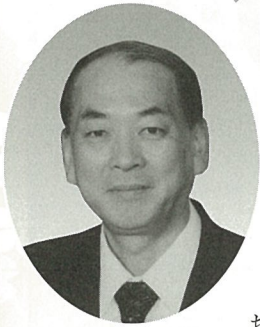


卒業生の

知識社会を生き抜け (西郷隆盛に学ぶ)

学校長 小邑政明



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。入学式からともに歩まれ、今日、立派に成長されたお子様の姿をご覧になられ、感慨も一入かと思えます。また、日頃から本校の教育について深いご理解と温かいご協力をいただき職員を代表してお礼を申し上げます。

さて、今年度も国内外で大きな事件が occurred しました。人類の滅亡につながる恐れのある行為や国際社会の秩序を破壊するサイバー攻撃など悲観的な事件があった一方で、自動車の自動運転や人工知能を搭載したロボットの開発など人類の未来を明るくする話題もありました。

これらはいずれも、それぞれの分野のリーダーが大きくかかわっています。つまり、このリーダーたちの信条や行動が人類の未来を握っていると言っても過言ではありません。私は、リーダーにとって大切な資質を次のように考えています。「ベースに愛を持ちながら行動すべき時は断固として行動する。そしてその行動は、自分たちの利益や他人からの評価を求めるところから発するのではなく、大義や使命天命といったところから発するものである。」私は、このことを西郷隆盛の残した言葉から学びました。西郷隆盛は新政府軍の要人として、江戸城を無血開城に導いたり、奥羽諸藩との戊辰戦争では敗者の庄内藩に寛大な処置をとったり、函館の五稜郭の戦いでは敵の大將で

あった榎本武揚を後に明治政府の要人として推挙したりして、敗者側の人たちからも多くの人望を集めました。東京の上野に銅像が立ち、庄内藩は彼の言葉を「西郷南洲遺訓集」にまとめて生き方の指針にし、榎本武揚は明治政府で文部大臣や外務大臣を歴任し日本の国力向上に努めました。自分を取り立ててくれた第11代藩主島津斉彬の死や二度にわたる島流しの逆境の中で、志の大切さや人の温かさを学んだことが、西郷隆盛の生き方に大きな影響を及ぼしたのではないかとされています。

さて、本校では、「グローバル社会で活躍できる次世代リーダーの育成」を柱として、生徒・教職員・保護者が一体となって教育活動に取り組んでいます。そして、卒業生の皆さんは、日々の学習活動に加え、部活動や学校行事、学生会館での宿泊研修などを通して自分自身を高めるとともに、お互いに協力して一つのことを成し遂げる能力を身に付けてきたと信じています。

卒業後は、いよいよ本校で身に付けたこの力を社会の中で発揮することができます。皆さん一人ひとりが才能を開花させ、どのような逆境にあっても西郷隆盛のように自分の仕事を天命と思い、人にやさしいリーダーとなって、豊かで活力ある社会を築いていってください。私達教職員一同、皆さんの将来にわたる活躍を期待するとともに、後輩の皆さんの目標となってもらうことを心から願っています。